

議長記者会見（R2.5.15）

（報告）

お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

それでは、まず初めに、第95回臨時会採決結果について報告させていただきます。

知事提出議案10件のうち、議案4件を可決、5件を承認し、報告のみが1件ございました。

議員発議案として提出された「青森県議会議員の議員報酬の特例に関する条例案」につきましても、新型コロナウイルス感染症感染拡大の防止、地域経済活動の回復等のため、有効な施策を講じていただくよう議員報酬と期末手当を減額する案でございます。

現在、地域経済や県民生活には、東日本大震災以上に深刻な影響が生じていることから、これまで例のない本職・議長職は20%、副議長及び議員は15%を減額する案でしたが、県民を支援したいという思いが共有され、原案どおり可決させていただきました。

減額により生じる財源については、経済対策や医療提供体制の確保などに有効に活用していただくよう、先ほど知事に要請をしてまいりました。

また、本日、知事から提出されました新型コロナウイルス

又感染症の拡大に伴う経済活動の停滞等に対する各種支援制度等を実施するための補正予算案が可決・成立いたしました。

予算の執行に当たっては、審議の過程において出された意見等を踏まえ、確実な成果が得られるよう努めていただきたいと考えております。

私からは以上でございます。

（質問）

○記者

今議会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、議席の間隔を空けて質疑を行うという、今まで例のない議会となったことについての感想をお願いします。

○森内議長

感想といたしましては、三密の回避が求められている状況で、国会で行われたことを基本に、密集を作らないことから始めました。席間が空いた分、議場はいつもと違い閑散とした印象でしたけれども、議事進行には支障がなかったと思います。実施に当たって、案をまとめていただいた議会事務局、御協力をいただいた議員に対し、改めてお礼を申し上げたいと思います。

○記者

今の質問に関連しますが、特に議事進行上何か不都合、あるいは課題はなかったかお聞きします。

○ 森内議長

議事進行には問題はなかったと思います。

密集の回避は、どこまで必要になるのか不透明ですので、今後も情報を把握しながら、対応していかなければならないこともあるかと思imasuので、その時は事務局と調整しながら、適正に対応していきたいと思っております。

○ 記者

関連質問です。半分程度の出席者で議事を行った感想をお聞かせください。

○ 森内議長

議場の雰囲気は、スッキリした印象を持ちました。密集状態よりは、空間があった方が、爽やかに感じました。

また、議員報酬の減額について、本県を含め、全国で8府県の議会で報酬減額を決定しているようですけれども、大阪が1か月分のみカットする以外は同じやり方ようですが、本県が東北で最も早く、減額率も5～10%が多い中で、議長が20%、他は15%と減額率が最も高くなっています。今のところ8府県の中での比較ですけれども、大きな減額に御理解いただいたことについて各議員に感謝しなければならないと思います。